

1 事業の成果

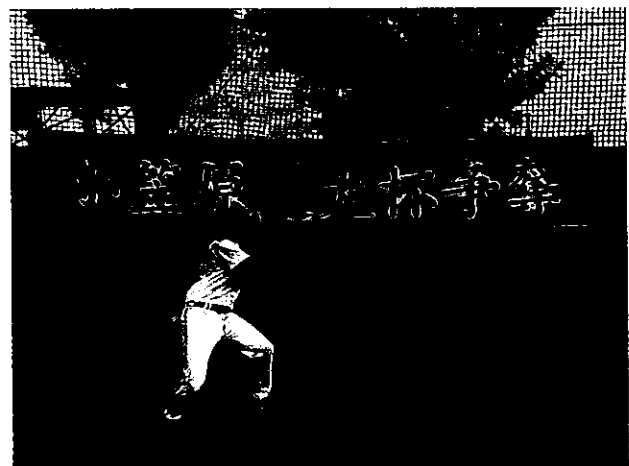
メイン事業の身体障害者野球チームが加盟している日本身体障害者野球連盟の公式戦が全て中止になり、大会に参加することは出来なかったが、市内でも様々なスポーツ大会が中止になる中、近隣のチームを招待し、小規模ながらモノマネ芸人も招き、冠大会とした念願の主催大会『小笠原ミニ大杯』を開催した。

地元ケーブルテレビ、新聞にも取り上げられ、障がい者野球を広く知ってもらうことができた。ぜひ第2回大会を、という声もいただき、第2回大会に向けて開催準備を進めることになった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
障害者スポーツの支援・推進事業	身体障害者野球チーム運営事業	月2回	市川大野高等学園 原木公園	2名	肢体不自由者 チーム参加者 延べ480名
障害者スポーツの支援・推進事業	身体障害者野球交流大会開催	11月8日	市川大野高等学園	4名	大会参加者 4チーム 65名



令和2年度 活動計算書
 令和2年4月1日から令和3年3月31日まで
 特定非営利活動法人G2プロジェクト

(単位：円)

科目	金額		
I 経常収益 1. 受取会費 正会員受取会費 賛助会員受取会費 2. 受取寄附金 受取寄附金 施設等受入評価益 3. 受取助成金等 受取民間助成金 4. 事業収益 〇〇事業収益 5. その他収益 受取利息 雑収益	50000	50000	
	70000	70000	
		0	
		0	
	1	1	
経常収益計			120001
II 経常費用 1. 事業費 (1) 人件費 役員報酬 給料手当 法定福利費 退職給付費用 福利厚生費 人件費計 (2) その他経費 備品費 旅費交通費 什器備品費 支払利息 その他経費計 事業費計 2. 管理費 (1) 人件費 役員報酬 給料手当 法定福利費 退職給付費用 福利厚生費 人件費計 (2) その他経費 諸会費 旅費交通費 減価償却費 雑費 その他経費計 管理費計 経常費用計 当期経常増減額	0	396608	
	5200	5200	
	25110	25110	
	396918	396918	
	0		
	5800		
	10330		
	16130		
		16130	
経常費用計			413048
当期経常増減額			△ 293047

III 経常外収益			
1. 固定資産売却益	0	0	
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
1. 過年度損益修正損	0	0	
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			△ 293047
法人税、住民税及び事業税			
当期正味財産増減額			△ 293047
前期繰越正味財産額			325817
次期繰越正味財産額			32770

(注) 重要性が高いと判断される用途等が制約された寄附金等（対象事業等が定められた補助金等を含む）を受け入れた場合は、「一般正味財産増減の部」と「指定正味財産増減の部」に区分して表示することが望ましい。表示例は以下のとおり。

(一般正味財産増減の部)

I 経常収益

1. 受取寄附金

受取寄附金振替額 × × ×

II 経常費用

2. 事業費

援助用消耗品費 × × ×

(指定正味財産増減の部)

受取寄附金

〇〇〇

一般正味財産への振替額

△ × × ×

令和2年度 貸借対照表

令和3年3月31日現在

特定非営利活動法人G2プロジェクト

(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	32770		
未収金			
流動資産合計		32770	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
什器備品			
有形固定資産計	0		
(2) 無形固定資産			
ソフトウェア			
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産			
敷金			
〇〇特定資産			
××銀行定期預金			
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			32770
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			
事務用品購入代			
通信費			
預り金			
源泉所得税預り金			
受取会費(次年度分)			
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
長期借入金			
××銀行借入金			
理事借入金			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		25817	
当期正味財産増減額		6953	
正味財産合計			32770
負債及び正味財産合計			32770

(注) 重要性が高いと判断される用途等が制約された寄附金等(対象事業等が定められた補助金等を含む)を受け入れた場合は、「III 正味財産の部」を「指定正味財産」と「一般正味財産」に区分して表示することが望ましい。表示例は以下のとおり。

I 資産の部
1 流動資産

II 負債の部

III 正味財産の部
1 指定正味財産
指定正味財産合計
2 一般正味財産
一般正味財産合計

×××

〇〇〇

令和2年度 財産目録 /
 令和3年3月31日現在 /
 特定非営利活動法人G2プロジェクト /

(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手元現金	4413		
みずほ銀行普通預金	71567		
未収金			
××事業未収金			
流動資産合計		75980	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
什器備品			
応接セット			
歴史的資料			
有形固定資産計	0		
(2) 無形固定資産			
ソフトウェア			
財務ソフト			
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産			
敷金			
○○特定資産			
××銀行定期預金			
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			75980
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			
イベント用品購入代	43210		
通信費			
預り金			
源泉所得税預り金			
受取会費(次年度分)			
流動負債合計		43210	
2. 固定負債			
長期借入金			
××銀行借入金			
理事借入金			
固定負債合計		0	
負債合計			43210
正味財産			32770

この法人の財産目録に相違ない
 特定非営利活動法人G2プロジェクト
 理事 笹川 秀一